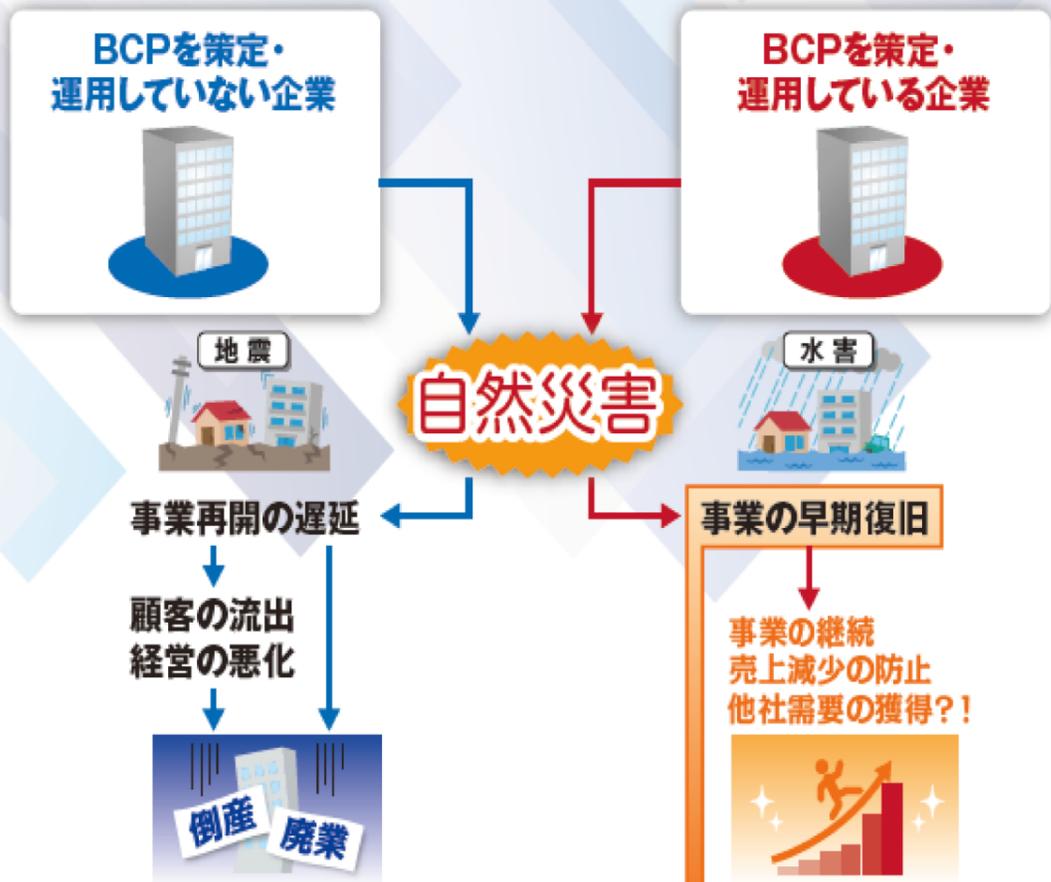


なぜBCPを策定する必要があるのか？



早期復旧に必要な資金

固定費 + **復旧費用**

営業継続費用 人件費 機材修理・購入費用 臨時人件費

一般的に1か月分程度のキャッシュフローが必要と言われています。

- 1ヶ月の事業中断した際の損失を把握していますか？
- 災害後に事業再開させるうえで補償範囲が適切であるか相談できますか？
- 復旧を目的とした融資・自己資金を確保していますか？

保険 できることがあります。ご相談ください。

元気の **Best Advice**



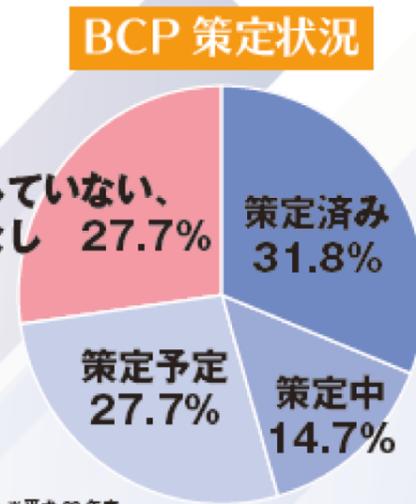
保険は重要な資金調達手段です。緊急事態が発生した際に、いかに被害を最小限にし早期に事業を再開できるようにするかを考え、計画として明文化することがBCP策定です。その緊急事態が予期していたことなのか、予期していなかったことなのかでその後の事業を早期に再開できるか、はたまた事業を継続していけるかが決まります。しかし、たとえ予期してBCPを策定していたとしてもそれは実効性のあるBCPでしょうか。これは次号以降への課題としたいと思いますが、まず今一度自社を見直し、BCP策定に着手してみたいかがででしょうか？今まで見えていなかった対策不足が見つかるかもしれません。



BCP (Business Continuity Plan)

日本語訳 「事業継続計画」

75%の企業はすでに考えています



自然災害など緊急事態で企業活動の停止に迫られる事態が発生したとき、いち早く事業を再開させるための計画です。準備していますか？ BCPという言葉は知っている。ただ、何をすればよいのかがわからない。そう思っているうちに… 予期せぬことはいつも突然です。事態を想定しておくことは企業存続に不可欠と思いませんか？

※平成29年度 企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査（中堅企業）